

+.....+
【ケアプロ通信vol.100】
1月度ニュース:車椅子での入院をドコケアが支援
+.....+

いつも大変お世話になっております。
ケアプロ広報担当です。

日頃からケアプロ通信をお読みいただきありがとうございます。
おかげさまでケアプロ通信は2011年8月11日発行の創刊号から
今回で100号目の発行を迎えることができました。

今後もケアプロ通信を通して社内の取り組みや、社員の活動を
みなさまに発信してまいります。

それでは1月度のニュースをお届けいたします。

+.....I N D E X.....+

- 【1】代表 川添高志
緊急事態宣言とこれからの医療制度
- 【2】 予防医療事業部
健康に関する様々なセミナーを企画中！
- 【3】 在宅医療事業部
 - 1) 東京紅白歌合戦出演にたくさんの反響をいただきました！
 - 2) 在宅医療事業部の事業計画発表会を開催しました！
- 【4】 交通医療事業部
 - 1) 車椅子での入院をドコケアが支援
 - 2) スポーツイベント再開のためにできること

+.....+

+.....代表 川添 高志からのメッセージ.....+

2021年も、よろしくお願いします。

緊急事態宣言が出され、
既存の医療資源は逼迫しています。

日本では、400人に1人が感染していますが、
米国では、すでに15人に1人が感染しています。

日本は、病床数が多い国であるものの病床逼迫しています。
日本は民間病院中心のため、
新型コロナウイルス感染症の患者受け入れは限定的です。

新型コロナウイルスは、その国の医療制度の課題を浮き彫りにします。
良い方向で、日本の医療制度が進化していくように、
私たちも微力ながら取り組んでいけたらと思います。

+……………予防医療事業部長 鈴木 沙由梨からのメッセージ……………+

「健康に関する様々なセミナーを企画中！」

現在、健康に関する様々なセミナーを企画しており、
コロナ禍の状況下に即したオンラインでの実施や動画制作を行っています。

セミナーの対象は問わず、従業員向けでもエンドユーザー向けでも承れます。
内容も、身体的な健康面からメンタルな部分まで、
幅広い分野の中からご依頼に合わせて作成をしていきます。

こんな時代だからこそ、健康の知識を身に付けて困難に立ち向かっていきましょう。

ご依頼お待ちしております。

セミナー例～生活習慣病関連～

- ・糖尿病《血糖値を上げにくい食事の選び方》
- ・高血圧症性疾患《減塩レシピ、食物に含まれる塩分量》
- ・脂質異常症《BMIに合わせた食事内容》

セミナー例～メンタルヘルス～

- ・職場でのメンタルヘルス
- ・ストレスへの気づきとその対処法
- ・ストレス緩和方法の学習と実践

下記の記事にも、セミナーについて詳細を掲載しております。合わせてご確認ください。

<https://carepro.co.jp/preventive/corporation/archives/6509/>



《遠隔でのセミナーも、随時承っております！》

+……………在宅医療事業部長 金坂 宇将からのメッセージ……………+

1)東京紅白歌合戦出演にたくさんの反響をいただきました！

先日【ケアプロ通信 特別号】でも共有させていただきました、12/25のNHK-BSプレミアムの新日本風土記～東京紅白歌合戦～へのケアプロ訪問看護ステーション東京のスタッフ出演について、放送後多くの方々から反響の声をいただきました。

広報もしておりましたが、知らずに見てご連絡をいただいた方もいらっしゃり、とても嬉しく思いました。

訪問看護というテーマの番組ではなかったのですが、在宅で生活をする利用者様の様子を、幅広く、多くの方に知っていただく機会になり、とても嬉しく思います。



2)在宅医療事業部の事業計画発表会を開催しました！

在宅医療事業部では、毎期初めに事業計画発表会を行っています。

目的は、スタッフ一人ひとりが事業運営について理解すること、それぞれが同じ方向性を向くことが、ミッション実現には重要だと考えているからです。

また、日々の業務だけでなく、現状を俯瞰して見つめ、毎日のケアや業務がどうミッションの実現に関わり、どう社会を健康にしていくのかを感じてもらうことも期待しています。

“私らしくいきたい”を実現するために、これからも事業運営していきます！



+……………交通医療事業部長 川添 高志からのメッセージ……………+

1)車椅子での入院をドコケアが支援

新型コロナウイルス感染症の影響で、
家族の支援ではなく、ドコケアの支援で、
入院や通院のニーズがあります。

下記は、昨年11月の入院支援の様子です。

<https://dococare.com/news/usersvoice-ikedasan/>



医療機関では、退院できるのに、家族が来ることができず、
退院できないといったことがあります。

公共交通機関を使いたくない方や救急車を呼びたくない方もおり、
必要な治療ができない問題も出てきています。

結果として、医療機関の患者数減少や経営悪化の問題もあります。

医療は、質とコストとアクセスで考えることが多いですが、
アクセスを担保するための「モビリティ」に対して、
医療機関や患者団体等と連携しながら、取り組んでいきます。

●ドコケア ～病や障害があっても安心して外出できる世の中を～

<https://dococare.com/>

2)スポーツイベント再開のためにできること

「イベントが中止になりました」

このような悲痛な声を、スポーツ関係者から聞くことが多いです。

特徴的な課題として、下記があります。

- ・新型コロナウイルス対策について行政への説明責任が求められ、専門的な根拠も必要なので、医療関係者の助言が必要
- ・陽性者が出た場合の会場の消毒等はどこまでやるべきなのかを明確にし、コストをかけて行う必要がある
- ・主催者や運営者も不安な状況が続く、メンタルヘルスの支援が必要

＜サッカーナースで把握しているスポーツイベント再開のための課題＞

ノウハウがない これでいいのか不安 	イベント毎にアレンジした ガイドライン作成が必要 	行政に対する説明責任が 求められる 
掲示物作成やアナウンスに 工数がかかる 	消毒液などの感染対策に コストがかかる (陽性者が出た際の対応コスト) 	3密回避のために 会場を貸切orゾーニング 
大会前後2週間の体調チェックに 工数・コストがかかる 	感染対策徹底のための 人件費がかかる ⇒密回避のためにスタッフの 人数を抑えなければならない 	主催者・運営者の メンタルヘルス 

今後、スポーツ庁や自治体等とも連携しながら、
サッカーナースとして、安全・安心のスポーツイベント再開のために、
尽力していきます。

●サッカーナース ～サッカーイベントとサッカー好きの看護師をつなぐ～

<https://soccer-nurse.com/>